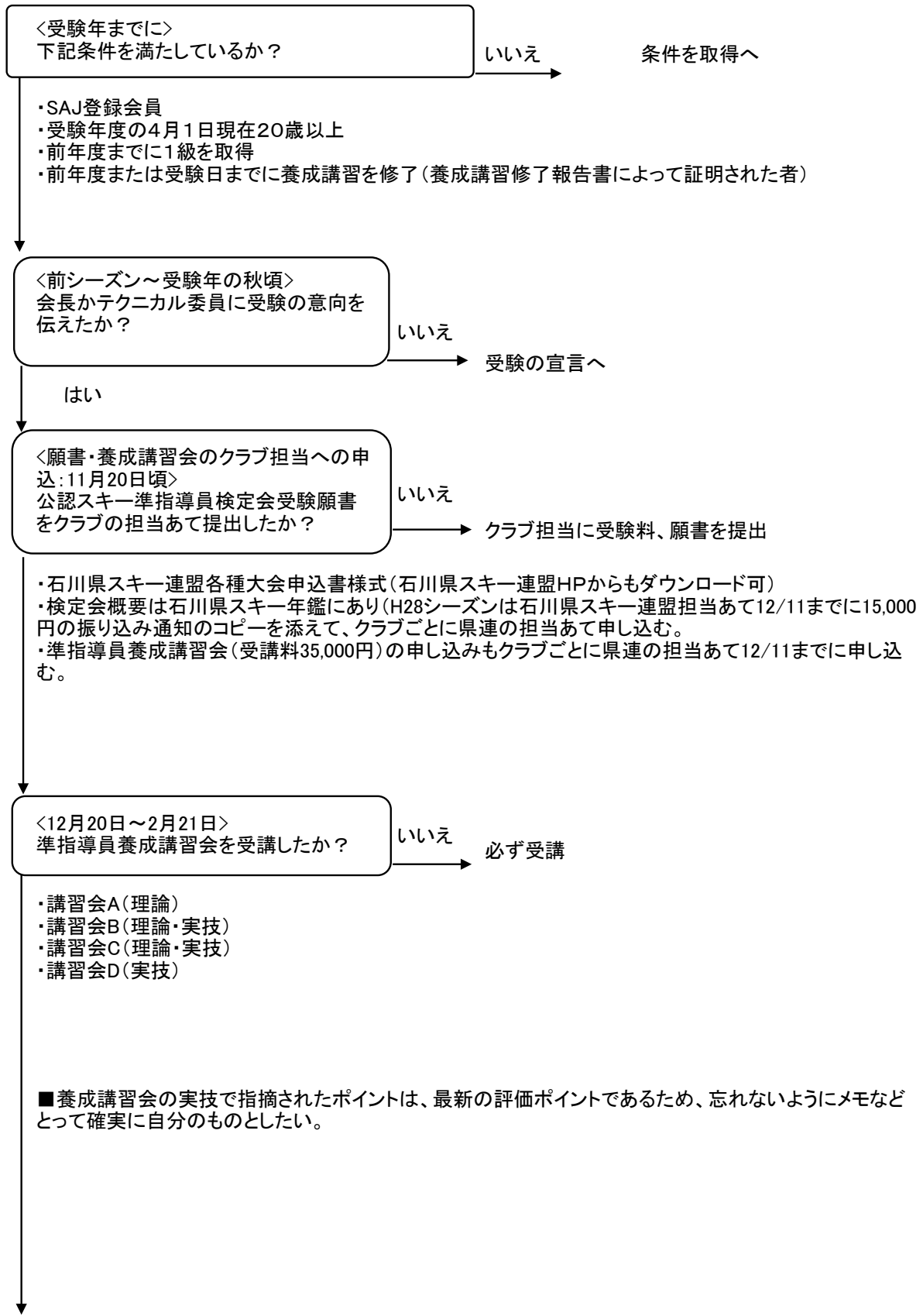


準指導員検定受験までの流れ

(平成27～28年シーズンの場合)



**<3月5日～3月6日>
公認スキー準指導員検定会**

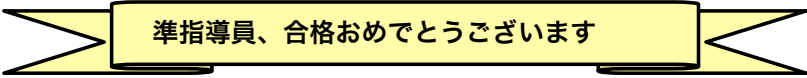
- 3月5日(土)
・受付
・実技検定(午前)
・理論検定(午後)

- <基礎>
①プルークボーゲン(制動)
②パラレルターン(大回り)
③パラレルターン(小回り)
④横滑りの展開
<実践>
①シュテムターン
②パラレルターン(大回り)
③パラレルターン(小回り)
④総合滑降・リズム変化

- 3月6日(日)
・閉校式、合格発表

<3月6日>
合格したか?

いいえ → 来年に向けて奮起を期待します!



- ・諸手続(公認料、バッジ、ワッペン、ライセンス等計15,500円、指導員会3,000円)

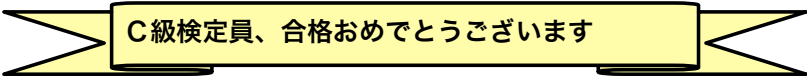
C級検定員検定会を申しこんだか?

いいえ → 受験手続きへ

- ・準指導員合格後、速やかに県連担当あて申し込む。
・受験料3,000円

**<3月13日>
スキー公認C級検定員検定**

- ・理論(合格基準は満点に対して60%以上。「オフィシャルブック」を熟読のこと。
種目の理解、検定員制度の内容、評価の観点の理解、関連規程など)
・実技(標準点に対して、合・否の的中率が70%以上)



- ・諸手続(公認登録料4,000円、バッチ代1,500円)